

神奈川県立藤沢支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第3回神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会		
開催日時	令和8年2月25日（水曜日）午前9時30分～11時15分		
開催場所	神奈川県立藤沢支援学校 視聴覚室		
出席者	運営協議会委員 7名 事務局教職員 10名		
次回開催予定日	令和8年6月吉日 開催予定		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
会議経過	<p>1. 開会</p> <p>(1) 校長あいさつ</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>・2年目／4年計画が終了する。残りの2年も計画的に。</p> <p>2. 学校評価（年間評価）</p> <p>総括教諭から、1年間の取り組みと評価について説明。</p> <p>3. 地域と協働した取組（切れ目ない支援部会）</p> <p>ボランティア活動の再開</p> <p>メタバース空間での作品展示とVR ゴーグル体験</p> <p>4. 授業視察</p> <p>5. 協議</p> <p>【教育課程】</p> <p>・ICT活用について</p> <p>少しずつ浸透してきている。アンケート結果では中高の評価が上がっている。ICTを取り入れた授業をより積極的に。併せてネットリテラシーについて検討。スタートはデジタルとアナログの併用が効果的。</p> <p>・一人1授業の実施。</p> <p>・組織としての取り組みを評価。子どもたちの表情がよい。</p> <p>【児童・生徒指導・支援】</p> <p>・友だちとの関わりを大切に指導。</p> <p>・研究協議のスタイルを変更したことにより、それぞれの立場で意</p>		

	<p>見交換や学び合いができるようになった。継続していく。学校評価に記述するとよい。</p> <p>【進路指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組みは理解できたが、活用の仕方は検討中。双方の課題を共有。自立＝依存先がたくさんあること。これまでの経験やノウハウも活用していくことも大切。 ・見学会など参加できなかった方へのフォローの工夫や充実は課題。 ・ニーズと取組の一致が大切。取組を発信していく。PR力大切。 <p>【地域等との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流や居住地交流の実施会数は前年度並。交流から協働学習へ。 ・センター的機能の充実。人員配置への工夫が課題。 <p>【学校管理、学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日直の廃止。業務改善の大きな成果。記述するとよい。 ・通学時等、稼業時間以外の安全確保への心配が保護者にはあるかもしれない。 ・土日等の緊急連絡先について、正しい連絡先が伝わっておらず、行き違いがある可能性が高い。丁寧な周知を。 ・本校は、災害時の二次福祉施設にあたる。児童生徒の避難と同時に、学校外からの避難者の来校も想定した防災訓練をするとよい。 ・「すぐーる」の利用など、情報交換の手段を生かすとよい。 <p>【業務改善に伴い、児童・生徒の話をする時間が増えたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は項目がなかった。実際に業務改善をした結果、児童生徒にとってどのような還元ができたかが大事なので、それが見えるとよい。 <p>【授業時数の削減について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間で30～40時間の削減。週あたりだと1時間程度かと思われるが、職員にとっても有効な時間の活用ができるとよい。 <p>6. 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度学校評価報告書（実施結果） ・令和7年度学校評価アンケート まとめ ・令和7年度学校評価 教職員アンケート自由記述 ・通学支援の報告